

0256

第八六第

三六師特第二號

軍人變死ノ件報告

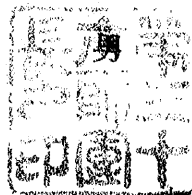
昭和十四年五月二十三日 第三十六師團長 舞

傳

陸軍大臣 板垣征四郎 殿

五月三日附三六師特第一號ヲ以テ報告セシ首題ノ件其ノ後判明  
セル事項別紙ノ通報告ス

陸軍



## 一 變死當時ノ狀況

- 1 最初ノ發見者 歩兵少尉 藤林千春  
 2 發見ノ日時及其狀態

四月二十六日二時頃藤林少尉カ齒痛部ヲ冷サント起床シタル際  
 ■少尉ハ初メ就寢セル位置ヨリ稍後退シ頭部ヲ就寢時ノ反對  
 方向ニ仰向ニ臥シアルヲ發見セシモ平素同少尉カ腰相ノ悪シキ  
 ヲ承知シアル藤林少尉ハ初メ何等ノ不審ヲ抱カサリシモ右手附  
 近ニ拳銃アルヲ氣付キ注意シ視察スルニ「ワイシャツ」ノ心臟  
 部附近ニ血痕アルヲ知り更ニ手、顔等ノ血色ノ異ナルヲ發見シ  
 直ニ附近ニ就寢シアル將校ヲ呼び起シ次テ中隊長乗上中尉ニ報  
 告セリ

3 中隊附准尉松原多一ハ二十六日零時頃用便ニ起床シタル際  
 少尉ハ夏服ノ上衣ヲ脱シ自己ノ就寢セル位置ニ座シ何等カ書キ  
 アルカ如ク思ハレタリ其後松原准尉ハ用便ヲ終リ就寢シ未タ熟

睡ニ至ラサル頃「グワン」ト恰モ甲板上ニ鐵棒ヲ倒シタル方如キ音響ヲ聞キタリコノ如キ音響ハ其以前ニ於テモ屢々甲板上ニ聞キタルヲ以テ少尉ノ自殺セシ拳銃ノ音響トハ毫モ感セザリシモノナリ

ニ遺書ト認ムヘキモノ別紙ノ如シ

尙少尉平素ノ筆蹟別紙ノ通りトス

ニ家庭ノ狀況

確實ナル資料ナキモ本人ハ家ノ養子ニシテ家庭ハ養父母妻並

子(男子二才)アリ

妻ハ養母家ノ後妻ノ連レ子ナリ家庭ノ内情ハ不明ニシテ

親シキ同僚ニモ語リタルコトナシ嘗テ漏シタル言ニ依レハ本人ハ

十八才ノ頃始メテ養子タルコトヲ知リタリト

四死体検案書ハ別紙ノ如シ

五責任者ノ處置

以上ノ如ク [REDACTED] 少尉自決ノ動機ハ詳細不明ナルモ大、中隊長ニ對シ其監督指導ノ責任上訓戒ヲ與ヘタリ

陸

軍

0920

者信受	着	發
隊 乘 止	月	月
長	日	日
殿	午	午
殿	時	時
殿	分	分
者信發	地信發	於

後、多の由るを傳を東へより新り申さる  
 中世の長久を東へより新り申さる

15

發 月 日 午 時 分 於  
 着 月 日 午 時 分 信 地 發 於

者信受  
 情報 殿 者信發

川原少佐

誑賊

① 自ら状報し得ん方候、并候、此後何事も  
 上司内御、御申付、候迄可也  
 是迄御多、為政御自、

② 倉佐士向之儀に情報

● 五、十日ノ兵カヲ軍中ニシテウロロキ

● 陣中ノ運送ニシテ之

● 將勢御自、必死ノ勢ヲ御自ト返答スル

一五〇三二七

● 是迄、兵隊ノ兵ノ入リ、何事も御自ニ  
 承ルルヲ要ス

● 此ノ旨、御自ニ御答ニシテトテ御自ニ

● 御自ニ、必死ノ儀ニ御答ニシ、御自ニ

● 御自ニ、必死ノ儀ニ御答ニシ、御自ニ

● 御自ニ、必死ノ儀ニ御答ニシ、御自ニ

● 御自ニ、必死ノ儀ニ御答ニシ、御自ニ

● 御自ニ、必死ノ儀ニ御答ニシ、御自ニ

1920

II

◎ 坊屋子早知んてー 通好。是夜 夢傳。地。事。所。 坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー 坊屋子早知んてー

此、階。後。修。了。後。坊屋子早知んてー

◎ 氏。子。の。身。子。坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー 坊屋子早知んてー

◎ 坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー 坊屋子早知んてー

又、坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー 坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー 坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー

坊屋子早知んてー

死體検査書

陸軍

一、氏名

二、男女別

男子

三、出生年月日

四、職業

歩兵第二百二十三聯隊第九中隊

豫備役陸軍歩兵少尉

五、病死自殺其他、変死中毒別

自殺

六、病名

拳銃ニ依ル心臟部貫通銃創死

七、死亡年月日時

昭和十四年四月二十六日午前十分

八、死亡場所

輸送船せう丸船中（勅海湾航行途上）

右検査候也

昭和十四年四月二十六日

歩兵第二百二十三聯隊第三大隊附

陸軍軍醫中尉 齋藤恒友



秋田・那波納